



モノ、ミ、ノリウ、モノ、カ、ハ、ノ、ノ、
ヨラズ、イツデモ、ツカエルヨ、ニ、カンガエテ、トノエル
コト、コレ、ジョーズナ、オカネノ、ツカイカタノ、コツデ
アル。
65
オシャレト、ケチノ、ハナシ
イツモ、クツヲ、クレイニ、シテ、イル、ヒトガ、コレヲ、
10ネン、マエニ、カッタ、クツダト、イッたら、オシャレナ

ヨラズ、イツデモ、ツカエルヨ、ニ、カンガエテ、トノエル
コト、コレ、ジョーズナ、オカネノ、ツカイカタノ、コツデ
アル。
65
オシャレト、ケチノ、ハナシ
イツモ、クツヲ、クレイニ、シテ、イル、ヒトガ、コレヲ、
10ネン、マエニ、カッタ、クツダト、イッたら、オシャレナ
クセニ、ケチナ、ヒトダト、イワレタト、イウノデ、アル。

何によらず、いつでも使えるように考えて整えること、これ、上手なお金の使
い方のコツである。

おしやれとケチの話

いつも靴をきれいにしているひとが、これは、十年前に買った靴だといつた
ら、おしやれなくせにケチなひとだといわれたというのである。
ものを知らぬひとは、何と考えるか知らないが、おしやれは、本来ケチなも
のである。ケチといって悪ければ、ものを大切にすることである。
おしやれのくせにケチだ、といった考え方は、おそらく、無意識に、おしや
れはムダなもの、だから、いちいちものの値打を覚えてケチケチ使わなくてい
いもの、という考え方があからずかではなからうか。
おしやれはムダなものではない。おしやれをムダなもの、しなくてもいいも
の、余分なもの、と考えているひとは、見たところどんなにおしやれをしてい

ようなことになりかねない、つまり、十本持っていて、使えるベルトは一
本もないということである。なにがムダだといつて、これほどムダなこととはな
い。教訓めかして言おうなら、持っているものは、身につけるものとあきらまず、

挿入文

行あけ、原本に 1 行あけがあれば、迷わず次の
ページ 1 行目でも、行あけを残す。

5 マス目からの見出し

前の本文との間を行あけすることが多い。

見出しが変わる場合は、前の本文と見出しの
間に 1 行あけたり、線を引いたり、原本に応じて最

適な方法をとる。なお、本文のページが最後の行で終わった場合、次の見出しは新しいページ
の 1 行目から書く。ただし、線を引いている場合は 1 行目に線を引く。(区切り線からページが移
る場合、区切り線を省略するかは、そのような場合でも区切り線を入れるかどうかは、団体で決
める。てびきでは決まっていない。)また原文に準じて大きな区切りページ使わなくてもいい。
(分かりやすく使用するためなので)

『点訳フォーラム』より

4 見出しと本文との行あけ(2):参照

本文がページの最後の行で終わった場合、次の見出しは新しいページの 1 行目から書く。ま
た、大きな区切り目では原文に準じてページを変えてよい。

『点訳のてびき』158ページより